

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2024年7月22日まで（2007年7月27日設定）	
運用方針	主として円建ての外国投資法人であるKBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）の投資信託証券（クラスA）および証券投資信託である日本短期債券マザーファンドの投資信託証券への投資を通じて、世界（含む日本）の水関連企業の株式に実質的な投資を行います。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	三菱UFJグローバル・エコ・ウォーター・ファンド	円建ての外国投資法人であるKBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）の投資信託証券（クラスA）および証券投資信託である日本短期債券マザーファンドの投資信託証券への投資を主要投資対象とします。
	KBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）ークラスA	世界（含む日本）の水関連企業の株式を主要投資対象とします。
	日本短期債券マザーファンド	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド

愛称：ブルーゴールド

第14期（決算日：2021年7月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド」は、去る7月26日に第14期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	MSCI ワールドインデックス (円換算ベース)	期中騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
10期(2017年7月24日)	10,195	900	24.5	160.76	20.5	0.2	—	97.0	4,717
11期(2018年7月23日)	10,132	700	6.2	175.69	9.3	0.2	—	97.0	4,057
12期(2019年7月22日)	9,576	0	△ 5.5	175.40	△ 0.2	0.3	—	98.2	3,676
13期(2020年7月22日)	9,645	0	0.7	183.68	4.7	0.3	—	98.1	3,264
14期(2021年7月26日)	10,144	3,900	45.6	251.38	36.9	0.3	—	96.0	2,894

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数です。MSCI ワールド インデックス (円換算ベース) は、MSCI ワールド インデックス (米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI ワールド インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCI ワールド インデックス (円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2020年7月22日	円	%		%	%	%	%
	9,645	—	183.68	—	0.3	—	98.1
7月末	9,612	△ 0.3	178.38	△ 2.9	0.3	—	98.2
8月末	9,977	3.4	191.60	4.3	0.3	—	98.1
9月末	9,904	2.7	184.79	0.6	0.3	—	98.4
10月末	9,781	1.4	179.50	△ 2.3	0.3	—	98.3
11月末	10,985	13.9	200.05	8.9	0.3	—	98.5
12月末	11,288	17.0	205.48	11.9	0.3	—	93.3
2021年1月末	11,743	21.8	209.62	14.1	0.3	—	98.0
2月末	12,123	25.7	217.08	18.2	0.3	—	98.7
3月末	12,957	34.3	229.87	25.1	0.3	—	98.6
4月末	13,691	41.9	238.93	30.1	0.2	—	98.3
5月末	14,115	46.3	242.05	31.8	0.2	—	98.0
6月末	14,101	46.2	247.55	34.8	0.2	—	98.6
(期 末) 2021年7月26日	14,044	45.6	251.38	36.9	0.3	—	96.0

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第14期：2020年7月23日～2021年7月26日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第14期首	9,645円
第14期末	10,144円
既払分配金	3,900円
騰落率	45.6%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ45.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

VALMONT INDUSTRIES（アメリカ）、栗田工業（日本）などの一部水関連企業の株価が上昇したことや、米ドルが円に対して上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

第14期：2020年7月23日～2021年7月26日

投資環境について

▶ 株式市況

株式市況は上昇しました。

期首から2020年8月にかけては、中国の景気回復期待や各国の追加経済対策に対する期待が高まったことに加え、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展を好感したことなどから上昇しました。9月から2021年3月にかけては、欧米における新型コロナウイルスの感染再拡大などから下落する局面があったものの、米国のバイデン新大統領による追加経済対策への期待や、各国における新型コロナウイルスワクチン接種開始とその進展に伴う景気回復本格化への期待などから株価は上昇しました。その後は、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融緩和姿勢や一部企業の良い決算、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展などが好感され上昇しました。

▶ 為替市況

米ドルは円に対して上昇しました。

期首から2020年12月にかけては、政治

的不透明感の高まりなどを背景に投資家心理が悪化し、米ドルは対円で下落しました。その後は、景気回復期待の高まりなどを受けた投資家心理の改善や米長期金利の上昇などを背景に米ドルは対円で上昇し、期を通してみると上昇しました。

▶ 国内短期債券市況

国内短期金利は小幅に低下、一般債の国債とのスプレッド（利回り格差）は縮小しました。

国内短期金利は、日銀の強力な金融緩和政策を背景に、横ばい圏で推移しました。2021年2月下旬にかけては、日銀の政策点検への思惑を背景に一時上昇する局面も見られたものの、その後期末にかけてはもみ合いながらも低下し、期初との比較では小幅に低下となりました。

一般債の国債とのスプレッドは、新型コロナウイルス感染拡大による世界景気への懸念が後退したことや、日銀の社債オペ拡充などを背景に、縮小しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド

アイルランド籍外国投資法人であるKBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）の円建外国投資証券への投資を通じて、世界（含む日本）の水関連企業の株式などを実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざした運用を行いました。また、日本短期債券マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ KBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）ークラスA

成長見通しが明るいと思われる企業や、水関連の各分野で市場を牽引していくような企業への投資を継続しました。

投資分野別では、「水関連装置」、「公益事業」、「水処理技術」の3つの分野を中心とした投資を継続しました。

「水関連装置」分野については、今後の水関連需要の増加が見込まれると考え投資を継続しました。

「公益事業」分野については、水関連需要の高まりから関連銘柄への投資のほか、

株式市場全体の変動性が高まった場合の株価の安定性を期待し、投資を継続しました。

「水処理技術」分野については、中国などにおける水質汚染に対する規制強化などから、高い技術を有する企業が恩恵を受けると考え投資を継続しました。

▶ 日本短期債券マザーファンド 組入比率

期を通じて高位組み入れを維持しました。

債券種別構成

国内金利の低位安定推移を見込み、利回り向上の観点から一般債をオーバーウェイトとしました。

デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

日銀の金融緩和政策継続から中短期金利は低位で推移と想定し、デュレーションをベンチマーク（NOMURA-BPI短期）並みに調整しました。

残存期間構成

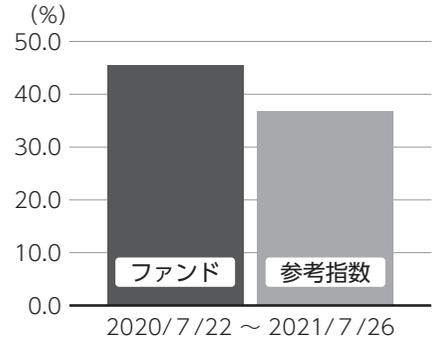
利回り向上の観点から中期ゾーンをオーバーウェイトとしました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCIワールドインデックス（円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万円当たり、税込み）

項目	第14期 2020年7月23日～2021年7月26日
当期分配金（対基準価額比率）	3,900 (27.770%)
当期の収益	3,854
当期の収益以外	45
翌期繰越分配対象額	607

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド

アイルランド籍外国投資法人であるKBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）の円建外国投資証券および証券投資信託である日本短期債券マザーファンドに投資を行います。

▶ KBIエコ・ウォーター・ファンド（ICAV）－クラスA

世界的に水の使用量拡大が見込まれることなどを背景に、水関連市場における需要は引き続き強いと考えています。特に、水インフラ関連への設備投資は、情報技術などを活用した新たな水インフラの拡大や地球温暖化の問題などを背景に、今後グローバルに増加するとみられ、良好な投資環境が継続すると考えています。

バリュエーションを重視しつつ、独自のテーマに基づき今後の業績拡大が期待できる企業に注目します。加えて、財務改善策や事業再編への取り組みにも注目し、銘柄選別を実施する方針です。

▶ 日本短期債券マザーファンド

安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。

新型コロナウイルス感染症の影響などから本邦景気は引き続き厳しい状態にあります。海外経済の回復を受けて輸出・生産は増加を続けており、企業収益や業況感も改善しています。しかし、サービス消費における下押し圧力の強さから個人消費が足踏み状態にあることや雇用・所得環境も弱い動きが続いているなど懸念材料も多く、景気の先行きの不確実性は依然として高いものと思われます。国内中短期金利は、引き続き低位での推移を想定します。国内事業債のスプレッドについては日銀の社債買入オペなどを背景に横ばい圏での推移になるものと思われます。

こうしたなか、一般債は国債と異なりプラス利回りを維持できると予想していることから、債券種別構成は流動性や銘柄分散に留意しつつ、プラス利回りである一般債の組入比率をベンチマーク比高めに維持します。

2020年7月23日～2021年7月26日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	131	1.103	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(33)	(0.276)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(92)	(0.772)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	131	1.106	

期中の平均基準価額は、11,872円です。

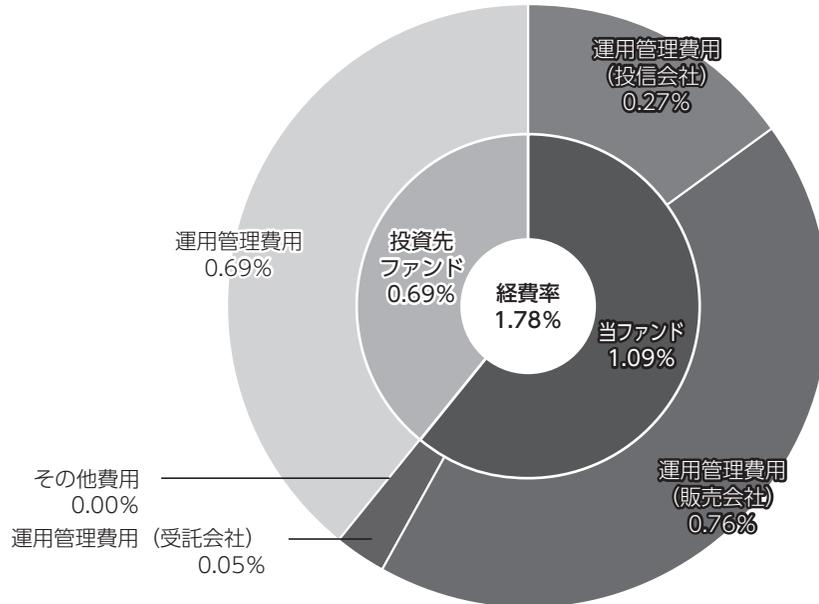
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は1.78%**です。



経費率 (①+②)	(%)	1.78
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.09
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.69

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、前記には含まれておりません。

○売買及び取引の状況

(2020年7月23日～2021年7月26日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	KBIエコ・ウォーター・ファンド(ICAV)ークラスA	千口 9	千円 165,496	千口 99	千円 2,000,464

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2020年7月23日～2021年7月26日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド>

該当事項はございません。

<日本短期債券マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
		百万円	%		百万円	%
公社債	976	60	6.1	491	—	—

平均保有割合 0.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人の発行する有価証券等

<日本短期債券マザーファンド>

種類	買付額	売付額	当期末保有額
公社債	百万円 —	百万円 100	百万円 100

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

<日本短期債券マザーファンド>

種 類	買 付 額
公社債	百万円 200

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱HCキャピタル、アコムです。

○組入資産の明細

(2021年7月26日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
KB Iエコ・ウォーター・ファンド(ICA V)ークラスA	千口 215	千口 125	千円 2,777,632	% 96.0
合 計	215	125	2,777,632	96.0

(注) 比率は三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンドの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
日本短期債券マザーファンド	千口 8,887	千口 8,887	千円 9,995	千円 9,995

○投資信託財産の構成

(2021年7月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 2,777,632	% 68.9
日本短期債券マザーファンド	9,995	0.2
コール・ローン等、その他	1,242,520	30.9
投資信託財産総額	4,030,147	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年7月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,030,147,368
コール・ローン等	1,242,519,361
投資証券(評価額)	2,777,632,610
日本短期債券マザーファンド(評価額)	9,995,397
(B) 負債	1,135,684,768
未払収益分配金	1,112,855,451
未払解約金	1,150,833
未払信託報酬	21,621,100
未払利息	1,232
その他未払費用	56,152
(C) 純資産総額(A-B)	2,894,462,600
元本	2,853,475,517
次期繰越損益金	40,987,083
(D) 受益権総口数	2,853,475,517口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,144円

<注記事項>

- ①期首元本額 3,384,724,289円
 期中追加設定元本額 73,382,413円
 期中一部解約元本額 604,631,185円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0144円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年7月23日～ 2021年7月26日
費用控除後の配当等収益額	19,513円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	1,099,780,821円
収益調整金額	54,218,490円
分配準備積立金額	132,125,278円
当ファンドの分配対象収益額	1,286,144,102円
1万口当たり収益分配対象額	4,507円
1万口当たり分配金額	3,900円
収益分配金金額	1,112,855,451円

○損益の状況 (2020年7月23日～2021年7月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 13,646
受取利息	91
支払利息	△ 13,737
(B) 有価証券売買損益	1,274,305,702
売買益	1,402,067,136
売買損	△ 127,761,434
(C) 信託報酬等	△ 40,898,705
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	1,233,393,351
(E) 前期繰越損益金	△ 1,467,739
(F) 追加信託差損益金	△ 78,083,078
(配当等相当額)	(54,218,433)
(売買損益相当額)	(△ 132,301,511)
(G) 計(D+E+F)	1,153,842,534
(H) 収益分配金	△1,112,855,451
次期繰越損益金(G+H)	40,987,083
追加信託差損益金	△ 78,083,078
(配当等相当額)	(54,218,490)
(売買損益相当額)	(△ 132,301,568)
分配準備積立金	119,070,161

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	3,900円
------------------	--------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2021年7月26日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

K B I エコ・ウォーター・ファンド（ I C A V ）－クラスA

決算日 2021年2月28日

[計算期間：2020年3月1日～2021年2月28日]

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	アイルランド籍・外国投資法人
ファンドの目的	世界（含む日本）の水関連企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。
主な投資対象	世界（日本を含む）の水関連企業の株式
設定日	2019年10月23日
決算日	原則として2月28日
投資運用会社	K B I グローバル・インベスターズ・リミテッド KBI Global Investors Limited
信託報酬等	年0.7%以内（運用報酬：年0.635%、管理報酬：年0.065%以内） その他、外国投資信託証券の監査報酬、資産を外国で保管する費用等がかかります。
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

K B I エコ・ウォーター・ファンド（ I C A V ）－クラスA

損益計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。なお、開示情報につきましては、「K B I エコ・ウォーター・ファンド（ I C A V ）」で掲載しています。

1. 損益計算書

(2021年2月28日に終了する期間)

	日本円
収益	
運用収益	65,147,382
金融資産の純損益	769,288,049
投資損益合計	834,435,431
運用費用	(26,736,420)
費用控除前純損益	807,699,011
金融費用	
支払利息	-
税引前損益	807,699,011
源泉徴収税	(7,173,690)
税引後損益	800,525,321
純資産の増減	
ユニットの保有者に帰属する純資産の増減	800,525,321

2. 投資明細書
 2021年2月28日時点

	保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
		Equities: 99.14% (2020: 96.78%)		
		Austria: 1.94% (2020: 1.74%)		
		Machinery-Diversified: 1.94% (2020: 1.74%)		
13,421	Andritz		69,197,590	1.94
	Total Austria		69,197,590	1.94
		Bermuda: 2.74% (2020: 3.49%)		
		Environmental Control: 1.41% (2020: 1.70%)		
601,636	China Water Affairs		50,403,762	1.41
	Water: 1.33% (2020: 1.79%)			
1,126,000	Beijing Enterprises Water		47,398,890	1.33
	Total Bermuda		97,802,652	2.74
		Brazil: 2.11% (2020: 0.54%)		
		Water: 2.11% (2020: 0.54%)		
48,952	Cia de Saneamento Basico do Estado de Sao Paulo		34,447,361	0.96
148,400	Cia Saneamento Minas Gerais		40,951,559	1.15
	Total Brazil		75,398,920	2.11
		Canada: 1.60% (2020: 4.57%)		
		Engineering & Construction: 1.35% (2020: 3.45%)		
11,397	Stantec		48,085,104	1.35
	Environmental Control: 0.00% (2020: 0.76%)			
		Miscellaneous Manufacturing: 0.25% (2020: 0.36%)		
42,854	H2O Innovation		8,961,831	0.25
	Total Canada		57,046,935	1.60
		Cayman Islands: 0.49% (2020: 1.02%)		
		Water: 0.49% (2020: 1.02%)		
12,673	Consolidated Water		17,498,351	0.49
	Total Cayman Islands		17,498,351	0.49
		Finland: 0.00% (2020: 1.20%)		
		Miscellaneous Manufacturing: 0.00% (2020: 1.20%)		
	Total Finland		-	-

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
	Equities: 99.14% (2020: 96.78%) (Continued)		
	France: 10.15% (2020: 5.48%)		
	Water: 10.15% (2020: 5.48%)		
56,806	Suez	126,756,147	3.56
81,141	Veolia Environnement	235,043,491	6.59
	Total France	361,799,638	10.15
	Germany: 2.03% (2020: 1.61%)		
	Metal Fabricate/Hardware: 2.03% (2020: 1.61%)		
14,183	Norma Group	72,301,046	2.03
	Total Germany	72,301,046	2.03
	Hong Kong: 3.27% (2020: 1.78%)		
	Environmental Control: 1.31% (2020: 1.78%)		
768,000	China Everbright International	46,779,346	1.31
	Water: 1.96% (2020: 0.00%)		
366,000	Guangdong Investment	69,719,916	1.96
	Total Hong Kong	116,499,262	3.27
	India: 0.60% (2020: 0.64%)		
	Engineering & Construction: 0.60% (2020: 0.52%)		
51,226	VA Tech Wabag	21,263,061	0.60
	Miscellaneous Manufacturing: 0.00% (2020: 0.12%)		
	Total India	21,263,061	0.60
	Ireland: 3.95% (2020: 4.72%)		
	Miscellaneous Manufacturing: 3.95% (2020: 4.72%)		
23,650	Pentair	140,937,797	3.95
	Total Ireland	140,937,797	3.95
	Japan: 3.39% (2020: 6.58%)		
	Environmental Control: 3.39% (2020: 5.14%)		
28,000	Kurita Water Industries	120,890,000	3.39
	Machinery-Diversified: 0.00% (2020: 1.44%)		
	Total Japan	120,890,000	3.39

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
	Equities: 99.14% (2020: 96.78%) (Continued)		
	Jersey: 2.48% (2020: 0.00%)		
	Distribution/Wholesale: 2.48% (2020: 0.00%)		
7,028	Ferguson	88,280,502	2.48
	Total Jersey	88,280,502	2.48
	Mexico: 2.48% (2020: 2.29%)		
	Chemicals: 2.48% (2020: 2.29%)		
357,000	Orbia Advance	88,381,911	2.48
	Total Mexico	88,381,911	2.48
	Netherlands: 3.55% (2020: 4.77%)		
	Engineering & Construction: 1.11% (2020: 3.02%)		
10,858	Arcadis	39,666,889	1.11
	Miscellaneous Manufacturing: 2.44% (2020: 1.75%)		
17,371	Aalberts Industries	86,912,733	2.44
	Total Netherlands	126,579,622	3.55
	Philippines: 0.31% (2020: 0.78%)		
	Water: 0.31% (2020: 0.78%)		
1,210,000	Metro Pacific Investments	10,880,057	0.31
	Total Philippines	10,880,057	0.31
	Republic of South Korea: 2.66% (2020: 2.83%)		
	Home Furnishings: 2.66% (2020: 2.83%)		
15,455	Woongjin Coway	94,896,107	2.66
	Total Republic of South Korea	94,896,107	2.66
	Singapore: 0.36% (2020: 0.37%)		
	Environmental Control: 0.36% (2020: 0.37%)		
864,300	SIIC Environment	12,938,690	0.36
	Total Singapore	12,938,690	0.36

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
	Equities: 99.14% (2020: 96.78%) (Continued)		
	Sweden: 1.74% (2020: 2.48%)		
	Miscellaneous Manufacturing: 1.74% (2020: 2.48%)		
18,761	Alfa Laval	62,057,147	1.74
	Total Sweden	62,057,147	1.74
	Switzerland: 0.00% (2020: 1.83%)		
	Miscellaneous Manufacturing: 0.00% (2020: 1.83%)		
	Total Switzerland	-	-
	United Kingdom: 11.96% (2020: 8.83%)		
	Engineering & Construction: 2.45% (2020: 0.69%)		
353,543	Costain	32,781,781	0.92
35,191	HomeServe	54,593,612	1.53
	Water: 9.51% (2020: 8.14%)		
99,486	Pennon	129,501,455	3.63
163,732	United Utilities	209,570,100	5.88
	Total United Kingdom	426,446,948	11.96
	United States: 41.33% (2020: 39.23%)		
	Building Materials: 5.14% (2020: 3.04%)		
14,676	Fortune Brands Home & Security	129,949,220	3.64
9,436	Masco	53,512,728	1.50
	Commercial Services: 2.05% (2020: 2.13%)		
3,285	Ecolab	73,223,632	2.05
	Electronics: 3.00% (2020: 3.54%)		
8,232	Agilent Technologies	107,051,170	3.00
	Engineering & Construction: 2.56% (2020: 1.14%)		
5,985	AECOM	36,900,337	1.04
14,790	Granite Construction	54,165,602	1.52
	Environmental Control: 1.25% (2020: 1.39%)		
17,095	Evoqua Water Technologies	44,685,628	1.25
	Healthcare-Products: 2.84% (2020: 3.04%)		
4,331	Danaher	101,421,158	2.84
	Housewares: 1.65% (2020: 0.00%)		
5,492	Toro	58,991,564	1.65

保有	フェア・バリューによる金融資産損益	フェア・バリュー 日本円	純資産比率 (%)
Equities: 99.14% (2020: 96.78%) (Continued)			
United States: 41.33% (2020: 39.23%) (continued)			
Machinery-Diversified: 7.39% (2020: 8.26%)			
2,471	I dex	51,360,777	1.44
2,118	Lindsay	36,159,560	1.01
2,769	Roper Technologies	111,463,349	3.13
6,081	Xylem	64,498,672	1.81
Metal Fabricate/Hardware: 6.85% (2020: 6.98%)			
53,785	Mueller Water Products	73,891,625	2.07
10,088	Rexnord	48,316,534	1.36
4,842	Valmont Industries	122,020,525	3.42
Miscellaneous Manufacturing: 2.41% (2020: 2.56%)			
14,478	SPX	85,877,915	2.41
Water: 6.19% (2020: 7.15%)			
26,544	Essential Utilities	118,931,446	3.34
55,233	PICO	53,784,548	1.51
7,136	SJW	47,596,668	1.34
Total United States		1,473,802,658	41.33
Total Equities		3,534,898,894	99.14
Total Financial assets at fair value through profit or loss		3,534,898,894	99.14
Total Value of Investments		3,534,898,894	99.14
Cash*		30,945,188	0.87
Other Net Liabilities		(135,862)	(0.01)
Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Shares		3,565,708,220	100.00

* All cash holdings are held with Northern Trust Fiduciary Services (Ireland) Limited.

日本短期債券マザーファンド

《第23期》決算日2021年7月26日

[計算期間：2020年7月23日～2021年7月26日]

「日本短期債券マザーファンド」は、7月26日に第23期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とし、ポートフォリオのデュレーション調整と銘柄選択による収益獲得をめざして運用を行います。ポートフォリオのデュレーションはベンチマークの平均を中心に調整します。デュレーション調整は主としてファンダメンタルズ分析に基づく中期的な金利見通しに沿って行います。銘柄選択は信用リスクと金利スプレッドを定量的・定性的に分析して行います。NOMURA-BPI短期をベンチマークとし、同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		NOMURA-BPI短期		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
19期(2017年7月24日)	11,175	0.1	235.85	△0.5	97.3	—	2,281
20期(2018年7月23日)	11,202	0.2	235.65	△0.1	97.6	—	2,061
21期(2019年7月22日)	11,221	0.2	235.76	0.0	98.3	—	1,840
22期(2020年7月22日)	11,208	△0.1	235.08	△0.3	95.3	—	1,713
23期(2021年7月26日)	11,247	0.3	234.87	△0.1	97.3	—	1,703

(注) NOMURA-BPI短期とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の残存期間1年から3年の債券で構成されている債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		N O M U R A - B P I 短 期		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	率	騰 落 率	率		
(期 首) 2020年7月22日	円	%		%	%	%
	11,208	—	235.08	—	95.3	—
7月末	11,216	0.1	235.09	0.0	93.0	—
8月末	11,214	0.1	234.94	△0.1	94.0	—
9月末	11,221	0.1	235.02	△0.0	91.9	—
10月末	11,222	0.1	234.97	△0.0	97.2	—
11月末	11,225	0.2	234.95	△0.1	97.9	—
12月末	11,228	0.2	234.92	△0.1	91.5	—
2021年1月末	11,231	0.2	234.89	△0.1	92.3	—
2月末	11,226	0.2	234.83	△0.1	93.9	—
3月末	11,234	0.2	234.91	△0.1	95.5	—
4月末	11,237	0.3	234.88	△0.1	91.5	—
5月末	11,240	0.3	234.86	△0.1	91.9	—
6月末	11,242	0.3	234.81	△0.1	97.7	—
(期 末) 2021年7月26日	11,247	0.3	234.87	△0.1	97.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

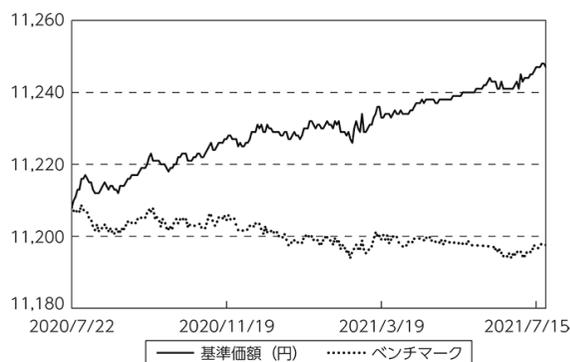
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.3%上昇しました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマーク(NOMURA-BPI短期)の騰落率(-0.1%)を0.4%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益を獲得したことや、一般債の国債とのスプレッド（利回り格差）が縮小したことが基準価額の上昇要因となりました。

● 投資環境について

◎ 国内短期債券市況

- ・ 国内短期金利は小幅に低下、一般債の国債とのスプレッドは縮小しました。
- ・ 国内短期金利は、日銀の強力な金融緩和政策を背景に、横ばい圏で推移しました。2021年2月下旬にかけては、日銀の政策点検への思惑を背景に一時上昇する局面も見られたものの、その後期末にかけてはもみ合いながらも低下し、期首との比較では小幅に低下となりました。
- ・ 一般債の国債とのスプレッドは、新型コロナウイルス感染拡大による世界景気への懸念が後退したことや、日銀の社債オペ拡充などを背景に、縮小しました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

◎ 組入比率

- ・ 期を通じて高位組み入れを維持しました。

◎ 債券種別構成

- ・ 国内金利の低位安定推移を見込み、利回り向上の観点から一般債をオーバーウェイトとしました。

◎ デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

- ・ 日銀の金融緩和政策継続から中短期金利は低位で推移と想定し、デュレーションをベンチマーク並みに調整しました。

◎ 残存期間構成

- ・ 利回り向上の観点から中期ゾーンをオーバーウェイトとしました。

- 当該投資信託のベンチマークとの差異について
ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-0.1%）を0.4%上回りました。

(プラス要因)

◎ 債券種別構成

- ・ 中短期ゾーンの国内金利がマイナス圏で推移するなか、プラス利回りの一般債をベンチマーク対比でオーバーウェイトとしていたこと。

◎ 今後の運用方針

- ・ 安定した利子収益確保をめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響などから本邦景気は引き続き厳しい状態にあります。海外経済の回復を受けて輸出・生産は増加を続けており、企業収益や業況感も改善しています。しかし、サービス消費における下押し圧力の強さから個人消費が足踏み状態にあることや雇用・所得環境も弱い動きが続いているなど懸念材料も多く、景気の先行きの不確実性は依然として高いものと思われます。国内中短期金利は、引き続き低位での推移を想定します。国内事業債のスプレッドについては日銀の社債買入オペなどを背景に横ばい圏での推移になるものと思われます。
- ・ こうしたなか、一般債は国債と異なりプラス利回りを維持できると予想していることから、債券種別構成は流動性や銘柄分散に留意しつつ、プラス利回りである一般債の組入比率をベンチマーク比高めに維持します。

○1万口当たりの費用明細

(2020年7月23日～2021年7月26日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2020年7月23日～2021年7月26日)

公社債

		買付額	売付額
国	国債証券	千円 175,555	千円 191,280 (60,000)
	特殊債券	—	100,013
内	社債券	800,712	200,309 (400,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年7月23日～2021年7月26日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 976	百万円 60	% 6.1	百万円 491	百万円 —	% —

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人の発行する有価証券等

種類	買付額	売付額	当期末保有額
公社債	百万円 —	百万円 100	百万円 100

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
公社債	百万円 200

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱HCキャピタル、アコムです。

○組入資産の明細

(2021年7月26日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	50,000	55,459	3.3	—	—	3.3	—
普通社債券	1,600,000 (1,600,000)	1,601,941 (1,601,941)	94.0 (94.0)	— (—)	— (—)	41.1 (41.1)	52.9 (52.9)
合 計	1,650,000 (1,600,000)	1,657,400 (1,601,941)	97.3 (94.0)	— (—)	— (—)	44.4 (41.1)	52.9 (52.9)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第87回利付国債(20年)	2.2	50,000	55,459	2026/3/20
小 計		50,000	55,459	
普通社債券				
第14回アサヒグループホールディングス	0.12	100,000	100,238	2025/10/15
第14回セブン&アイ・ホールディングス	0.19	100,000	100,399	2025/12/19
第15回Zホールディングス	0.35	100,000	100,240	2023/6/9
第67回神戸製鋼所	0.2	100,000	100,194	2026/6/10
第18回日立製作所	0.06	100,000	99,944	2023/3/10
第50回日本電気	0.29	100,000	100,155	2022/6/15
第46回IHI	0.22	100,000	100,018	2023/9/1
第1回明治安田生命2019基金	0.29	100,000	100,020	2024/8/2
第37回丸井グループ	0.12	100,000	99,867	2023/12/1
第19回みずほ銀行(劣後特約付)	1.67	100,000	100,826	2022/2/24
第22回芙蓉総合リース	0.04	100,000	99,935	2022/10/28
第5回イオンフィナンシャルサービス	0.23	100,000	100,041	2022/5/27
第75回アコム	0.309	100,000	100,171	2023/2/28
第5回ソフトバンク	0.1	100,000	99,897	2023/7/28
第1回クレディ・アグリコル・エス・エー(2017)	0.443	100,000	100,155	2022/6/9
第6回マラヤン・バンキング	0.224	100,000	99,841	2023/2/13
小 計		1,600,000	1,601,941	
合 計		1,650,000	1,657,400	

○投資信託財産の構成

(2021年7月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,657,400	% 97.3
コール・ローン等、その他	46,192	2.7
投資信託財産総額	1,703,592	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年7月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,703,592,348
コール・ローン等	44,168,741
公社債(評価額)	1,657,400,000
未収利息	1,797,580
前払費用	226,027
(B) 負債	53,898
未払解約金	53,855
未払利息	43
(C) 純資産総額(A-B)	1,703,538,450
元本	1,514,616,498
次期繰越損益金	188,921,952
(D) 受益権総口数	1,514,616,498口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,247円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,528,811,692円
 期中追加設定元本額 286,499,964円
 期中一部解約元本額 300,695,158円
 また、1口当たり純資産額は、期末11,247円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
- | | |
|---------------------------|----------------|
| 三菱UFJ 積立ファンド(日本バランス型) | 1,120,913,620円 |
| 三菱UFJ 国内バランス20 | 246,379,374円 |
| 日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定) | 120,848,172円 |
| 日本短期債券ファンドVA(適格機関投資家限定) | 17,588,164円 |
| 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド | 8,887,168円 |
| 合計 | 1,514,616,498円 |

○損益の状況 (2020年7月23日～2021年7月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	6,402,255
受取利息	6,424,384
支払利息	△ 22,129
(B) 有価証券売買損益	△ 158,620
売買益	3,686,000
売買損	△ 3,844,620
(C) 当期損益金(A+B)	6,243,635
(D) 前期繰越損益金	184,704,237
(E) 追加信託差損益金	35,074,648
(F) 解約差損益金	△ 37,100,568
(G) 計(C+D+E+F)	188,921,952
次期繰越損益金(G)	188,921,952

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。